

## オーディオ & RGBスキュー校正機能付き Cat 5経由VGAビデオエクステンダ

ST122UTPAL



DE: Bedienungsanleitung - [de.startech.com](http://de.startech.com)

FR: Guide de l'utilisateur - [fr.startech.com](http://fr.startech.com)

ES: Guía del usuario - [es.startech.com](http://es.startech.com)

IT: Guida per l'uso - [it.startech.com](http://it.startech.com)

NL: Gebruiksaanwijzing - [nl.startech.com](http://nl.startech.com)

PT: Guia do usuário - [pt.startech.com](http://pt.startech.com)

最新の情報は [www.startech.com](http://www.startech.com) でご確認ください

## FCC準拠ステートメント

本製品はFCC規則パート15のBクラスデジタルデバイスに対する制限を遵守しているかを確認する試験にて、その準拠が証明されています。これらの制限は、住居環境に設置された場合に有害な干渉から合理的に保護するために設計されています。本製品は無線周波数エネルギーを発生、使用、放出し、指示に従って取り付けられ、使用されなかった場合は、無線通信に有害な干渉を与える可能性があります。一方、特定の取り付け状況では、干渉が起きないという保証を致しかねます。本製品がラジオやテレビ電波の受信に有害な干渉を発生する場合(干渉の有無は、製品の電源を一度切り、改めて電源を入れることで確認できます)、次のいずれかまたは複数の方法を試すことにより、干渉を是正することをお勧めします:

受信アンテナの向きを変えるか、場所を変える。

製品と受信アンテナの距離を離す。

受信アンテナが接続されているコンセントとは異なる回路を使うコンセントに本製品を接続する。

販売店が実績のあるラジオ/テレビ技術者に問い合わせる。

## 商標、登録商標、その他法律で保護されている名称やシンボルの使用

本書は第三者企業の商標、登録商標、その他法律で保護されている名称やシンボルをウェブサイト上で使用場合がありますが、これらは一切StarTech.comとは関係がありません。これらの使用は、お客様に製品内容を説明する目的でのみ行われており、StarTech.comによる当該製品やサービスの保証や、これら第三者企業による本書に記載される商品への保証を意味するものではありません。本書で直接的に肯定する表現があったとしても、StarTech.comは、本書で使用されるすべての商標、登録商標、サービスマーク、その他法律で保護される名称やシンボルは、それぞれの所有者に帰属することをここに認めます。

# 目次

はじめに.....	1
パッケージの内容.....	1
動作環境.....	1
サイドビュー1.....	2
サイドビュー2.....	2
インストール手順.....	3
設置場所の準備をする.....	3
ローカル機のインストール.....	4
リモート機のインストール.....	4
ドライバインストール手順.....	5
使用方法.....	5
モードA設定.....	6
モードB設定.....	6
EDIDのコピー.....	6
技術仕様.....	8
技術サポート.....	9
保証に関する情報.....	9

# はじめに

本Cat5経由VGA&オーディオビデオエクステンダを使用すれば、Cat5/Cat5eケーブルで1台のPCのVGA信号を4台(2台はローカル、2台はリモート)のモニタに送信することができます。本製品のトランスミッタ機とレシーバ機は独自の回転制御ホイールを搭載しており、レシーバ機に接続したディスプレイデバイスの信号のオン/オフを切り換え、オーディオ出力ボリュームを調節できるようになっています。さらに、回転制御ホイールを使用すれば、RGB(赤、緑、青)スキュー較正、ゲイン、イコライザ制御によってビデオ信号を微調整することも可能です。

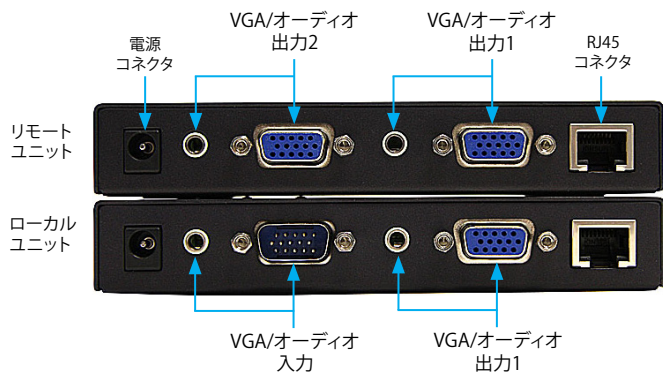
## パッケージの内容

- 1 x ST122UTPALローカル機
- 1 x ST122UTPALリモート機
- 2 x 電源アダプタ
- 2 x アースコード
- 1 x ユーザマニュアル

## 動作環境

- VGA対応ディスプレイデバイス
- VGA対応ビデオソース
- 3.5mmミニジャックプラグ搭載アナログステレオ音声ソース(オプション)
- 3.5mmミニジャックプラグ搭載ステレオスピーカー(オプション)
- ローカル側とリモート側で利用可能な電源コンセント

## サイドビュー1



## サイドビュー2



# インストール手順

**注意:**一部の環境でユニットへの電子的損失を避けるため、シャーシが適切に接地されていることを確認してください。蛍光灯、エアコン、電気ノイズを発生させる可能性のある機器から離れた場所にケーブルを置きます。

本製品はローカル機とリモート機という2つの異なるユニットが含まれています。ローカル機はアナログのオーディオやVGAビデオ信号ソース(通常、コンピュータ)から出力信号を取り、これをUTP Ethernetケーブルを介してリモート機に送信します。標準VGAコネクタと3.5mmミニジャックを使って、リモートディスプレイ(複数可。モニター、プロジェクタなど)とスピーカーをリモート機にそれぞれ接続します。これにより、ローカルコンピュータの画像と音声をリモートディスプレイ(複数可)とスピーカー(複数可)で出力することができます。

## 設置場所の準備をする

1. ローカルコンピューターの設置場所を決め、コンピューターをセットアップします。
2. リモートディスプレイの設置場所を決め、適切な場所に設置します。
3. 表面配線を行う場合、十分な長さのシールド無しツイストペア(UTP) Ethernet配線により、ローカル機とリモート機のある場所まで接続し、各端部がRJ45コネクタで端子処理されていることを確認してください。標準的なネットワーク機器(例:ルーター、モデム、スイッチ)の間に配線しないようにしてください。

または

構内配線を行う場合、ローカル機とリモート機間のシールド無しツイストペア(UTP) Ethernet配線が適切にそれぞれの場所の壁コンセントで端子処理されており、リモート機とローカル機をそれぞれのコンセントに接続するためのパッチケーブルの長さが十分あることを確認してください。標準的なネットワーク機器(例:ルーター、モデム、スイッチ)の間に配線しないようにしてください。

## ローカル機のインストール

1. インストールを開始する前に、すべてのディスプレイデバイスとビデオソースデバイスの電源を落としてください。
2. ローカル機をローカルビデオ/オーディオソースデバイスの近くに置きます。
3. DE-15 VGAケーブル (オス/メス) (別売り) でVGAソースデバイス (例: コンピューターシステム) とST122UTPALトランスミッタ機の入力端子を接続します。オーディオを使う場合は、3.5mmのミニジャックケーブルでオーディオ入力コネクタとオーディオソース (例: サウンドカード) を接続します。
4. ローカルモニタを使用する場合は、VGAモニタをトランスミッタ機の出カコネクタのひとつに接続します。オーディオを使用する場合は、3.5mmミニジャックコネクタ付きのスピーカー/ヘッドフォンを同一出力セットのオーディオ出力コネクタに接続します。ローカル機の出カセットは同一機能を有しています。
5. UTP Ethernetケーブルをローカル機のRJ45コネクタに接続します。
6. 電源アダプタを電源コンセントとローカル機に接続します。

## リモート機のインストール

1. UTPケーブルでリモート機とローカル機を接続します。
2. VGAケーブルでリモートディスプレイとリモート機の出カコネクタのひとつを接続します。オーディオを使用する場合は、スピーカーを同一出力セットの3.5mmミニジャックポートに接続します。  
**オプション:** 2つめのディスプレイとスピーカーのセットはリモート機の出カセットに接続します。2つある出力セットは同一機能を有しています。
3. 電源アダプタ (同梱) を適切な電源に接続し、リモート機の出カコネクタにもう一方の端を差し込みます。  
**注意:** ローカル機とリモート機を接続するUTP Ethernetケーブルには電流が流れているため、別のデバイスに差し込まないようにしてください。これらのデバイスがダメージを受ける恐れがあります。お使いのEthernetケーブルには、リモート側にもローカル側にも本製品の名前を書き込み、識別しやすいようにしておくことを強くお勧めしています。

## ドライバインストール手順

本ビデオエクステンダは外付けハードウェアソリューションで、コンピュータシステムには認識されないため、ドライバをインストールする必要はありません。

### 使用方法

リモート機の回転ホイールを使用すれば、ビデオエクステンダのさまざまな機能にアクセスすることができます。2つの設定モードが利用できます。

**モードA:** このモードでは、リモート機の物理コネクタを選択して調節することができます (VGA または 3.5mm ミニジャック)。さらに、ボリューム制御とビデオのオン/オフ操作もできます。

**モードB:** このモードでは、イコライゼーション、ゲイン、RGB スキュー較正など、ビデオ信号出力を調節することができます。

設定モードを有効にするには、以下の手順に従ってください。

1. ローカル機とリモート機のインストールを完了し電源を入れたら、リモート機の電源LEDが緑色に点灯します。
2. リモート機の回転ホイールを数秒間押し下げると、出力1と出力2の下のLEDインジケータースセットが点滅し始めます。これはリモート機がモードAに設定されていることを示しています。
3. 回転ホイールをさらに数秒間押し下げたままにすると、イコライザ/ゲイン/スキューLEDが点滅を開始します。これはリモート機がモードBに設定されていることを示しています。
4. リモート機が希望する設定モードになったら回転ホイールを離します。

**注意:** リモート機は20秒間アイドル状態になると通常の動作モードに戻ります。



# モードA設定

モードAでは、回転ホイールを押すたびに物理ポートが切り換わります (VGAとオーディオ)。ビデオ出力を選択すると、ホイールが回転して出力のオン/オフが切り換わります。オーディオ出力を選択すると、ホイールが回転してボリューム出力が増減します。LEDの強度はボリュームレベルを反映しています (明るいほどボリューム出力が強くなります)。

## モードB設定

モードBでは、回転ホイールを押すたびに信号較正モード: イコライゼーション、ゲイン、赤スキュー、緑スキュー、青スキューが切り換わります。これらの較正モードでホイールが回転して出力信号を調節します。

**注意:** モードBを選択する前に、まずAモードに入ってビデオ出力コネクタを選択してください。モードBに入ると、ビデオ較正は出力のみに影響します。リモート機の両方の出力セットを使用している場合、このプロセスをそれぞれに実行する必要があります。

## EDIDのコピー

いくつかのケースでは、ディスプレイに問題が起きるのは、ディスプレイデバイスとコンピューターグラフィックスカード間のEDID接続が正しくないか、ディスプレイデバイスのEDIDデータが適切にプログラムされていないことが原因となっている場合があります。ローカル機には「EDIDコピー」機能が搭載されており、ローカル機はローカル接続されたディスプレイデバイスから必要なEDID情報を読み込んで、その情報をいつでも接続ビデオソースに提供することができます。ディスプレイデバイスに新しいEDID情報がない場合は、ローカル機に内蔵されているデフォルトプロファイルが自動的に提供されます。

### デフォルトEDIDの読み込み

非EDID準拠デバイスを使用している場合、ST122UTPALはローカル機のデフォルトEDIDプロファイルから実行可能EDIDデータを自動的に選択して、EDID情報を設定します。デフォルトEDIDプロファイルは以下の手順で有効にすることができます。

1. ローカル機のサイドパネルにある「EDIDコピー」ボタンを押し下げます。
2. ボタンを押し下げたまま、付属の電源アダプタをローカル機に差し込みます。
3. 確認ピーブが1回鳴ったら、すぐに「EDIDコピー」ボタンを離します。電源LEDが緑色に点灯し、EDIDコピー (通信) が完了しデフォルトプロファイルが読み込まれたことを知らせます。
4. モニタをローカル機の出力ポートに接続します。これでローカル機の使用準備が整いました。

## EDIDのコピー(ポート1のみ)

EDID準拠ディスプレイデバイスを使用している場合、ST122UTPALのEDIDコピー機能によって、モニターとコンピューターのビデオカード間の適切なEDID通信が有効になり、最適ビデオ品質が確保されます。EDID通信は以下の手順で有効にすることができます。

1. 付属の電源アダプタをローカル機に差し込みます。
2. EDID準拠ディスプレイデバイスをローカル機の「ポート1」出力に接続します。
3. ローカル機のサイドパネルにある「EDIDコピー」ボタンを約2秒間押し下げます。確認ピープ音が2回鳴ったら、すぐに「EDIDコピー」ボタンを離します。
4. 長いピープ音が1回鳴ったら、ローカル機の「ポート1」にディスプレイデバイスが適切に接続されていないか、適切なEDID情報がないことを意味しています。手順2~3をもう一度実行するか、別のディスプレイデバイスで試してください。

# 技術仕様

ビデオ信号	VGA (RGBHV)
コネクタ(トランスミッタ機)	2 x DE-15 VGA (メス) 1 x DE-15 VGA (オス) 3 x 3.5mmミニジャック 1 x RJ45 1 x DC電源
コネクタ(レシーバ機)	2 x DE-15 VGA (メス) 2 x 3.5mmミニジャック 1 x RJ45 1 x DC電源
LED(トランスミッタ機)	電源/EDIDコピー、ビデオ入力
LED(レシーバ機)	スキュー/ビデオ入力、ゲイン、EQ、 ビデオ出力1、ビデオ出力2、 オーディオ出力1、オーディオ出力2
最大表示解像度	1920x1200@300m
最大ケーブル長	300m
動作温度	0°C ~ 40°C
保管温度	-20°C ~ 60°C
湿度	0% ~ 80% RH
電源アダプタ	9~12VDC、1500mA
外形寸法(各機)	140.0mm x 104.6mm x 23.0mm
重量(各機)	970g

# 技術サポート

StarTech.comの永久無料技術サポートは、当社が業界屈指のソリューションを提供するという企業理念において不可欠な部分を構成しています。お使いの製品についてヘルプが必要な場合は、[www.startech.com/support](http://www.startech.com/support) までアクセスしてください。当社では、お客様をサポートするためにオンライン工具、マニュアル、ダウンロード可能資料をご用意しています。

## 保証に関する情報

本製品は2年間保証が付いています。

また、StarTech.comは、資材や製造工程での欠陥に起因する商品を、新品購入日から、記載されている期間保証します。この期間中、これら商品は修理のために返品されるか、当社の裁量にて相当品と交換いたします。保証で適用されるのは、部品代と人件費のみです。StarTech.comは商品の誤用、乱雑な取り扱い、改造、その他通常の摩耗や破損に起因する欠陥や損傷に対して保証いたしかねます。

### 責任制限

StarTech.com Ltd. やStarTech.com USA LLP (またはその役員、幹部、従業員、または代理人) は、商品の使用に起因または関連するいかなる損害 (直接的、間接的、特別、懲罰的、偶発的、派生的、その他を問わず)、利益損失、事業機会損失、金銭的損失に対し、当該商品に対して支払われた金額を超えた一切の責任を負いかねます。一部の州では、偶発的または派生的損害に対する免責または限定的保証を認めていません。これらの法律が適用される場合は、本書に記載される責任制限や免責規定が適用されない場合があります。

# StarTech.com

Hard-to-find made easy®

見つけにくい製品が簡単に見つかります。StarTech.comでは、これが企業理念です。それは、お客様へのお約束です。

StarTech.comは、お客様が必要とするあらゆる接続用パーツを取り揃えたワンストップショップです。最新技術からレガシー製品、そしてこれらの新旧デバイスを一緒に使うためのあらゆるパーツ。当社はおお客様のソリューションを接続するパーツを見つけるお手伝いをしています。

当社はおお客様が必要なパーツを見つけるのを助け、世界中どこでも素早く配送します。当社の技術アドバイザーまでご連絡いただくか、当社のウェブサイトまでアクセスしていただくだけで、お客様が必要としている製品をすぐに提示します。

StarTech.comが提供しているすべての製品に関する詳細な情報は [www.startech.com](http://www.startech.com) までアクセスでご確認ください。ウェブサイトだけの便利な工具をお使いいただけます。

StarTech.comは接続や技術パーツのISO 9001認証メーカーです。StarTech.comは1985年に創立し、米国、カナダ、イギリス、台湾に拠点を構え、世界中の市場でサービスを提供しています。